

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推 進

事業名	市民会館等跡地活用事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民会館等跡地一体について公民連携手法による施設整備などにより地域課題の解決を図る活用方法につ いて検討を行う。
(事業概要等)
市民会館跡地一帯の活用に係る基本計画の策定にあたり、必要となる調査や情報収集を行い、公民連携の 事業化の可能性について、検討を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	0	0	20,996	-	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
セミナー	回	0	1	0	0
研究会	回	0	2	1	1
市民ワークショップ	回	0	0	2	0
(指標を設定できない理由)					
市民会館等跡地活用に係る調査検討業務であるため、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
対象地の課題の把握や情報収集を行い、事業者向けのサウンディングや研究会及び市民ワークショップを踏 まえ、対象地の活用に向けた方向性や導入機能、事業スキーム等の検討を行い、令和2年3月に市民会館等 跡地活用基本計画を策定した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 引き続き、ヘルシーパークの整備、アビリティタウンの実現に向け、対象地の 有効活用を図り、より一層の公民連携の取り組みが必要となることから、今後 も継続する必要がある。
	改革・改善 策等の具体 的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	1	便利な暮らしを支えるまちづくりの推 進

事業名	地域計画事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、土地利用、都市施設の整備及び良好な市街地の形成に関する計画等の策定を目的とする。
(事業概要等)
都市計画に決定・変更及び都市計画審議会の開催。 都市計画に関する方針の策定。 都市計画に関する縦覧用図面、販売用市域図、都市計画図の作成。 立地適正化計画の策定

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	4,786	3,848	27,377	14,870	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
用途地域の変更	地区	-	-	8	-
立地適正化計画の策定	件	-	-	1	-
(指標を設定できない理由)					
都市計画に係る地域地区の指定や変更及び計画策定に関する事業であるため、成果の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
用途地域については、都市計画マスタープランなどの上位計画に基づく将来の土地利用の方針や、現状の土地利用や地域住民の要望などを踏まえ、都市計画変更を行った。 また、人口減少・少子高齢化への対応や医療・福祉・商業・公共施設等の充実などを見据え、令和2年3月に泉大津市立地適正化計画を策定した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) これまでどおり、住みよいまちづくりを実現するために、法定都市計画基礎調査や必要に応じた都市計画の変更及び必要な計画策定に向けた検討を実施していく必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	景観形成誘導事業(景観市民会議「景観人の集い」)	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市民一人ひとりが景観を育てる主人公になれるよう「景観人の集い」を設置し、市内の景観を親しみと愛着と誇りあるものとし、ゆとりとうるおいのある景観まちづくりの実現を図る。
(事業概要等)	景観市民会議「景観人の集い」の事務局として活動の支援を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	66	33	33	68	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
歴史こぼれ話の開催(景観人の集い活動実績)	回	3	3	1	-
絵のあるまちづくり(景観人の集い活動実績)	箇所	1	1	1	-

(指標を設定できない理由)	市民主体の景観に対する取り組みの事務局支援であり、成果の数値化は困難である。
---------------	--

(成果の概要)	これまで行ってきた歴史的な景観を再発見し地図を作成し、それをパネル展示やフォトコンテスト等により広く市民に紹介する活動に加え、公共施設を活用し、地域の子もたちと一緒に壁画を描くことで、まちの景観を「守る心」「育てる心」を育む試みも開始するなど、その活動の幅を広げている。
---------	---

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	景観形成活動の醸成により、景観に関する活動以外へ活動の域が広がっていくことにより、今後、事務局として庁内の横断的な調整が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 景観は、魅力あるまちづくりの要因の一つであり、市域の良好な景観形成のためには、市民の景観に対する意識醸成が必要となる。そのために、今後も続けていく必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	2	良好な市街地の整備

事業名	住居表示整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
従来の町名地番による住所の表示方法がわかりにくく、市民生活や企業活動に障害が生じるため、住居を表示する方法を合理的に定め、不便をなくし、住みよいまちづくりを目指すこと。
(事業概要等)
住居や事務所等の施設の所在する場所を、合理的な住居表示の方法によって定める。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	223	232	198	251	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
住居表示プレートの発行件数	件	211	180	226	-
(指標を設定できない理由)					
新築届けがあった場合に住居表示を付番する事業であるため、目標値を設定することは困難である。					
(成果の概要)					
新築届のあった住宅に付番通知書と住居表示プレートを発行し、転入・転居時の居住地確認を円滑にし、登記簿等の変更時に必要となる住居表示証明書を発行している。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	新築等による住居番号の届出の際に、窓口での待ち時間を短くするため、また、単純に付番しにくい場合等があるため、あらかじめ、開発指導係に建築確認や開発の届出のあったものを確認し、付番の予定やプレートの発注を行っている。また、付番状況を市民課などでも随時、確認できるように共有フォルダへデータ化し保存している。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	新たに本市に建物を新築し住民登録を行う場合、本課において住居番号届出書の提出を行い、新築建物への付番を行った後に、市民課において住民登録を行わなければならないので、市民にとっては2段階の申請が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 実施済の区域では、これまでどおり、不便をなくし、住みよいまちづくりを行うため、付番通知書及び住居表示プレートの発行を行い、未実施区域については、住民合意の形成された地域から順次住居表示を実施する必要がある。
	改革・改善策等の具体的な内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	4	市民参加によるまちづくりの推進

事業名	まちづくり運営事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
泉大津の風土と文化を活かしたうまいと活力のあるまちづくりを、市民の自発的なまちづくり活動によって推進するための環境を整える。
(事業概要等)
市民のまちづくり会議や女性まちづくり会議に対して、まちづくり事業や計画を策定するため、多様な情報提供等を行うとともに市民の自主的なまちづくりを推進するための環境を整える。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	308	311	312	322	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
まちづくり会議開催回数	回	18	12	8	-
(指標を設定できない理由)					
市民の自発的なまちづくりに関する取り組みを支援するものであるため、目標の数値化は困難である。					
(成果の概要)					
魅力あるまちづくり事業を策定する上で、各地区の風土、文化や景観等の視点から取り組みが行われている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も定期的にまちづくり会議を開催していくため。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	住環境	4	市民参加によるまちづくり

事業名	まちづくり事務所維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	市内南海本線三駅周辺のまちづくりを進めていくため、市民と行政が一体となってまちづくりの実現に向け議論する場として、まちづくり会議を支援するためのまちづくり事務所を維持管理する。
(事業概要等)	まちづくりの拠点として、まちづくり事務所を設置。市が維持・管理を行い、貸し出しについては、北助松駅・松之浜駅周辺地区まちづくり事務所は地元自治会に依頼。泉大津駅西地区まちづくり事務所は、市で行っている。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	610	549	560	665	
うち市負担分(千円)					

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
事務所使用人数	人	7,299	8,553	7,865	2,889
使用回数	回	231	330	272	158
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
まちづくり事務所は、市内南海本線三駅周辺地区の住民主導の駅周辺地区まちづくり構想の作成など、地域整備の円滑な推進を図っている。令和二年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、使用実績は大幅に減少する見込みである。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	北助松駅・松之浜駅周辺地区まちづくり事務所の貸し出しなどの管理を地元自治会に依頼。それぞれの事務所について、利用状況や実態に応じて、地域移管に向けた調整及び検討を進めている。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	各事務所とも建設から約20年が経過し、設備などが老朽化してきている。
---------	------------------------------------

【今後の方向性】

担当課の評価	B 要改善	(左記評価の理由) 当初目的としての使用は少なくなっているが、市民団体などの活動の場としては、広く使用されており、まちづくり事務所の位置づけ及び代替施設について検討が必要。
改革・改善策等の具体的内容	市民団体の活動の場となる施設の多目的化による集約。	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備

事業名	公園維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
市民の憩いの場となる公園を安全・安心に利用できるように、清掃活動、施設の修繕等を行い、適正な維持管理に努めることを目的とする。
(事業概要等)
市内に77箇所ある公園・緑地の清掃、遊具の日常点検、トイレの清掃を行うことに加え、施設の修繕業務を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	41,468	35,040	42,330	35,917	
うち市負担分(千円)	38,040	31,783	38,598	35,717	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
専門業者による遊具点検	回	0	0	2	2
施設の整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
専門業者による遊具点検を行い、適切な修繕等を図ることにより重大な事故を未然に防ぐことができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	シルバー人材センターにより日常的な遊具点検を実施していたが、遊具メーカーによる専門的な点検に変更した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	遊具及び建築物等の公園施設の老朽化が顕著であり、安全確保の観点から修繕対応をより一層進めていく必要がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 公園の適正な維持管理を行うため、今後も清掃等を進めてくるとともに、遊具等の公園施設の点検及び修繕を継続して実施する必要がある。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	3	市民による緑化推進活動の推進

事業名	緑化推進事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
緑の基本計画に基づき、うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進に向けて、総合的・計画的な緑化の推進を図る。また、緑化ボランティア団体への活動を助成し、地域の緑化活動を推進する。
(事業概要等)
緑と花の写生コンクール等の子供たちが緑とふれあい愛着を感じてもらえる機会を作る。また、緑化ボランティア団体に対して助成を行い、緑化活動を推進する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	3,352	3,719	3,470	4,589	
うち市負担分(千円)	3,352	3,719	3,470	4,589	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
緑と花の写生コンクール作品数	点	2,632	2,221	2,133	2,000
緑化ボランティア団体	団体	11	17	19	21
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
緑化ボランティア団体により、公園や植樹帯等の緑化・美化活動が行われ、公園等利用者にやすらぎや癒し空間が提供されている。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	緑化ボランティア団体への支援については、これまでアドプトプログラム制度及び緑化活動助成金制度の2つの制度があったが、団体間での不公平感や煩雑な事務処理の改善を目的に、両制度を統一し、市からの支援の内容を活動内容に応じた報奨金の支給へ変更した。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの推進のため、引き続き写生コンクールの実施及び緑化ボランティア団体への支援を続けていくことで、多くの人に身近なみどりに触れる機会を創出し、みどりの充実を図っていく。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	環境体験学習推進事業(都市づくり政策課)	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
小学生を対象に間伐材を用いたベンチづくりを行い、公園に設置し、森林環境保全及び環境意識の向上を図りつつ、公園への愛着を抱いてもらうことを目的とする。
(事業概要等)
間伐材を用いて、公園のベンチを製作することにより、森林環境保全に加え木材の再利用による環境意識の向上を図る。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	83	167	172	252	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
体験学習参加者数	人	20	20	9	20
ベンチ製作数	基	10	10	10	10
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
事業を通じて、参加者への環境意識の向上を図ることが出来た。 なお、R1年度において、参加者数が減少となったのは、同時に開催している他部署の体験学習において実施方法が変わり、～H30まで午前・午後の2回開催であったのが、午後1回開催となったことによる。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	子供たちへの指導を、友好都市の森林組合に委託することにより、木材の取り扱いや間伐材の意味等について適切に指導・説明を行うことができた。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も、森林環境保全及び環境意識の向上と公園への愛着を抱いてもらうため、事業を継続する必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	環境保全	4	地球環境の保全

事業名	剪定枝活用事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	ゴミの処分量を減らし、資源の有効なリサイクルを行う。
(事業概要等)	市内の街路樹や公園等から発生する剪定枝をチップ化し、焼却ごみを減らすとともに資源の再利用を図ることにより環境保全に努める。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	255	1,241	1,600	2,000	
うち市負担分(千円)	0	0	0	0	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
リサイクル量	t	30	146	124	
マルチング材敷設面積	m ²				481
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
ごみの焼却量の減少及びリサイクルの推進に努めることができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	ゴミの処分量を減らすため、市内の街路樹等から発生した剪定枝等についてリサイクル施設への搬入を行ってきたが、資源の再利用については、これまで図れてこなかったことから、令和2年度よりマルチング材の敷設を行うこととする。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 市道街路樹の植樹柵全域に、マルチング材を敷設する計画であるため、継続して実施していく。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	道路・交通		安全な道路空間の整備

事業名	小松町4号線道路改良事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	--------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	小松町4号線の整備を行い、当該道路周辺地域と幹線道路とのアクセス向上を図るとともに、既設可動式防潮堤鉄扉を撤去し、安全性と維持管理性の向上を図るものである。
(事業概要等)	小松町4号線を対面通行化するため線形・拡幅改良を行い、併せて既設防潮堤鉄扉を撤去するため、道路を隆起させた構造として整備する。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	-	-	25	45,980	
うち市負担分(千円)	-	-	25	24,043	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
道路の整備率	%	-	-	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
市民会館跡地等整備事業において道路および防潮堤の予備設計を実施し、関係機関との協議を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国庫補助金および事業費の確保
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 予備設計を踏まえて、詳細設計および関係機関との協議を実施し、整備に向けて工事発注を行う必要がある。
改革・改善 策等の具体的 内容	特記事項なし	

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	道路・交通		安全な道路空間の整備 都市計画道路の整備

事業名	泉大津駅西地区周辺整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	---------------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	泉大津駅西地区の活性化、歩行者・自転車の安全性向上、災害時避難路の確保、さらには景観の向上を図るために周辺整備を行う。
(事業概要等)	都市計画道路泉大津駅前通り線の整備、およびその周辺道路である泉大津臨海連絡線、松之浜大津川線、小松原通線における歩行者通行空間の整備を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	17,689	42,950	75,123	290,226	
うち市負担分(千円)	12,481	25,550	27,840	244,597	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
泉大津駅前通り線事業用地の取得率	%	-	2	11	27
歩行者通行空間の整備率(670m)	%	-	46	100	-
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
都市計画道路泉大津駅前通り線は、平成29年度に事業計画認可を取得し、令和元年度は、物件調査を行って補償算定を実施するとともに、事業用地を取得した。 泉大津駅臨海連絡線と松之浜大津川線、菅原小松町線の歩行者通行空間は、令和元年度に整備が完了した。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	特記事項なし
--------	--------

【課題(問題点)】

課題(問題点)	国庫補助金および事業費の確保
---------	----------------

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 都市計画道路泉大津駅前通り線は、事業計画認可期間である令和6年度末までに整備が完了するよう事業を進める必要がある。
	改革・改善策等の具体的内容	特記事項なし

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備

事業名	プール施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	プール利用者にとって安全な状態で開場するために、プール施設の整備を行う。
(事業概要等)	プールサイドの破損した平板の補修や劣化した塗装面の研磨及び塗装等、プール利用者が安全に利用できるよう、プール施設の整備を行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	1,978	1,969	2,231	1,800	
うち市負担分(千円)	1,978	1,969	2,231	1,800	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
整備不良による休業日数	日	0	0	0	0
整備不良による重大な事故	件	0	0	0	0
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
施設の整備不良が原因となる怪我や事故を未然に防ぐことができた。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	プール施設の運営等について、指定管理者を導入したことにより、簡易又は予防的な修繕等を速やかに実施できるようになった。
--------	--

【課題(問題点)】

課題(問題点)	施設の老朽化が顕著であり、プールの安定的な運営のためには、施設の老朽化対策やろ過機等の機械類の大規模な改修が必要な状況である。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 施設の老朽化が顕著であり、大規模改修が必要ではあるが、当面の間、修繕等の部分改修により、施設の維持に努める。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	公園・緑地・河川	1	公園一つひとつの特徴を活かした再 整備

事業名	みどり維持管理事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	-----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)	緑の基本計画に基づいた、うるおいと安らぎを与えるみどりづくりの為に、適切なみどりの維持管理を行う。
(事業概要等)	市内の公園、施設及び市道植樹帯における除草、剪定、伐採及び植樹等のみどりの維持管理により、うるおいと安らぎを与えるみどりづくりを行う。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	60,520	51,327	61,369	70,078	
うち市負担分(千円)	60,520	51,327	61,369	70,078	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
高木剪定・伐採	本	1,182	989	1,012	1,000
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
枯木等倒木の危険性のある樹木の伐採や、電線を破断させる可能性が高い樹木等の剪定を実施し市内公園、施設及び市道のみどりの維持管理を行った。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	良好な景観を維持するため、適正な樹形となるように、高木の剪定方法等について見直しを行った。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	除草や剪定が必要となる時期は、どの箇所においても同時期となり作業が追い付かない状況となっている。また、作業については、主にシルバー人材センターに委託していることから高齢の作業員が多く体力的な不安や、シルバーの会員減少等に伴う労働力の確保に課題がある。
---------	---

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 良好な景観を維持し、みどりあふれるまちづくりのため、引き続き公園、施設及び市道植樹帯の適正な維持管理が必要である。
改革・改善策等の具体的内容		

事務事業評価シート(概要説明書)

第4次総合計画 の位置づけ	政策名	基本施策名	NO	施策の展開方向
	コンパクトで居心地のよい まちづくり	公園・緑地・河川	1	地域の活動や外遊びの拠点となる公園づくり

事業名	公園施設整備事業	担当課名	都市づくり政策課
-----	----------	------	----------

【事業の概要】

(事業の目的・趣旨)
魅力的なまちづくりの一環として、老朽化した公園施設の更新及び公園の再整備を行い、より多くの市民が安心して楽しめる地域の特色を活かした公園造りを行う。
(事業概要等)
平成27年度に策定を行った公園長寿命化計画に基づく公園施設の更新を行うとともに、令和元年度に策定を行った公園整備マスタープランにより、地域のニーズにあう公園機能の適切な配置を図ることで、安心・安全で魅力的な公園づくりに努める。

【事業費】

項目 / 年度	H29 (決算額)	H30 (決算額)	R01 (決算額)	R02 (予算額)	備考
事業費総額(千円)	45,375	25,946	84,576	691,626	
うち市負担分(千円)	35,375	17,070	38,446	459,959	

【事業実績・成果】

事業実績(活動指標)・成果(成果指標)	単位	H29年度 実績値	H30年度 実績値	R01年度 実績値	R02年度 目標値
公園の改良、施設等整備数	箇所	2	7	3	3
(指標を設定できない理由)					
(成果の概要)					
快適に利用できる公園づくりのために、計画的な公園施設の更新及び公園の再整備等を行い安心・安全な公園づくりを行うことが出来た。					

【これまで実施した事務の見直し点】

直近の改善点	事業をよりいっそう進めていくために、社会資本整備総合交付金の活用を行い、また今後も積極的に交付金等を活用し、事業を進めていく。
--------	---

【課題(問題点)】

課題(問題点)	市内公園全体の遊具及び施設等の老朽化が顕著であり、対応に多額の整備費用が必要となる。
---------	--

【今後の方向性】

担当課の評価	A 現行どおり	(左記評価の理由) 今後も、市内に多数ある老朽化した公園施設の更新の為、公園施設長寿命化計画及び公園整備マスタープランに基づく、特色ある公園への改修、並びに、年次的な改修や更新、再整備が必要である。
	改革・改善策等の具体的内容	